



持続可能な社会への貢献

■ 地域共生活動への取り組み

興亜エレクトロニクスは6工場で操業をしています。いずれの工場も山間地域で操業をしており、周りはとても自然豊かです。一方で過疎化も進んでおり、地域人口は減少傾向にあります。そこで当社は地域行政と協力をしながら地域の活性化を目的として新たに子会社「株式会社あさげの里」を設立しました。

現在あさげの里は新野地区を拠点として活動をしています。主な活動内容は農作物の生産、伝統文化であるわら細工の生産、マスク製造・販売等の地域共生活動になります。

農作物は季節ごとに様々な野菜を栽培し、収穫しています。収穫した野菜は地元の道の駅で販売をしています。わら細工では円座やねこちぐら、鯛縄などを作成・販売しています。

これからもあさげの里では、地域の将来性を見据えながら更なる活性化にむけて、地元地域と協力をしながら活動をしていきます。



阿南町新野地区での田植えの風景



マスクの製造



伝統文化である「わら細工」

中長期的な環境改善活動の紹介

■ ハチドリ活動の推進

「ハチドリのひとしずく」(辻 信一氏監修)たった17行のお話です。

森が火事になったとき、逃げ惑う動物たちに笑われながらも、ハチドリだけは火を消すために、ほんの少しの水を懸命に運びました。そしてそのハチドリはこう言いました。「私は、私にできることをしているだけ」
当社ではこのハチドリに習い、些細なことでも社員一人一人が自分にできることから始める「ハチドリ活動」を10年以上前から継続して推進しています。

2020年度は97,401件のポトリが集まり、環境面では「ムダな電気を消した」「裏紙を使った印刷の徹底」などが行われ、これら一つ一つの積み重ねが大きな力につながっています。



ハチドリボード

“自分にできること”をしたら1ポトリとしてハチドリボードにポトリシールを貼ります。一人一人の小さなポトリの積み重ねが、部門さらには会社の目標達成に繋がっています。